

いたが、当該地が空き地となったことから、車両や歩行者が安全に、かつ通行しやすい道路となるように測量、設計を進めている。



待たれる道路改良

三条市元旦マラソンの現状と課題について

Q 三条市の元旦マラソンはなぜ参加費が無料なのか。そして、今後は元旦以外の日の開催も検討すべきと思うがどうか。

A 今年度は例年通りに元旦に無料で開催するが、来年度以降の在り方については関係団体と協議したい。

カメラ等対策すべきではないか。

A 投票所運営でのカメラ活用は国の法制度の動向を注視して改善に向けて考えていく。



長橋 一弘 議員の質問

三条市に対する住民訴訟について

Q 以下の内容に対してどう思うか。

- ・滝沢市長が提訴に対し応訴した「大義名分」について聞かせてほしい。
- ・応訴の結果、有能なプロパー（生え抜き）職員を3人とも無くすことになった責任について
- ・今案件の5000万円の支払いは「公共性、公益性の観点と社会通念に照らして公金の使い方として妥当であるか」について
- ・被告側（三条市）と補助参加人ワンテーブル側の弁論終了について
- ・応訴の成算について
- ・今案件に関してのメディア報道について
- ・三条市財務規則「その性質又は目的が競争入札に適しないもの」で「ワンテーブルが相応する資力、信用、技術、経験等を有する相手方」と判断したことについて

自動運転車実証実験の実現について

Q バス、タクシー業界においてもドライバー不足が深刻化しており、近隣の弥彦村では自動運転バスのコースを増やす計画と聞いている。三条市としては、自動運転車の実証実験の考えはあるのか。

A 他市町村等の実証実験の状況を踏まえ、国の動向も注視しながら将来的な導入の在り方などを検討したい。



岡田 竜一 議員の質問

鳥獣対策について

Q 市の担当で熊情報を把握した後どのように対応しているのか。住民に迅速に知らせる手段として防災無線、火災時の半鐘などを活用できないか。

A 熊の目撃情報が寄せられた場合、鳥獣監視員、鳥獣被害対策実施隊員、農林課職員、警察が出発現場に向かい、痕跡の確認とともに周辺のパトロールを行う。その上で、熊が山へ戻ったことを確認した後、情報発信している。防災無線の活用については、現に住宅地に熊がいる場合など、人身事故発生の緊急度が高い場合には、避難を呼び掛け

る手段として活用している。

道の駅とまちづくりについて

Q まちづくりの観点から地域性を踏まえ、市として道の駅庭園の郷保内の指定管理者に何を求めるか。

A これまで以上に「来場、ご利用」特性を十分生かした事業計画となっているか、地域の知識や技術を持った人材の活用を図っていく計画があるかなどに重きを置いて指定管理者を選定していく。



リニューアルした看板

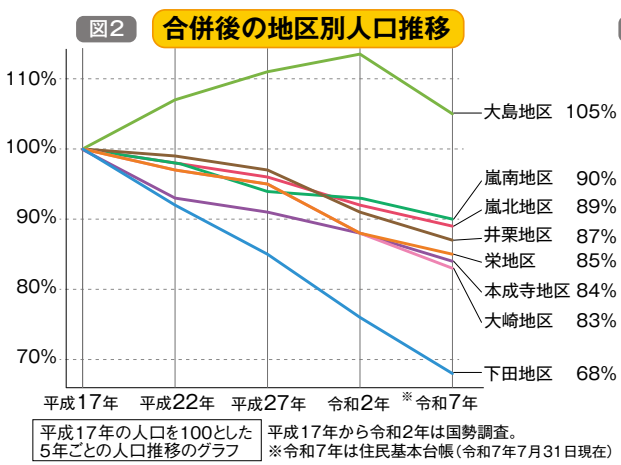
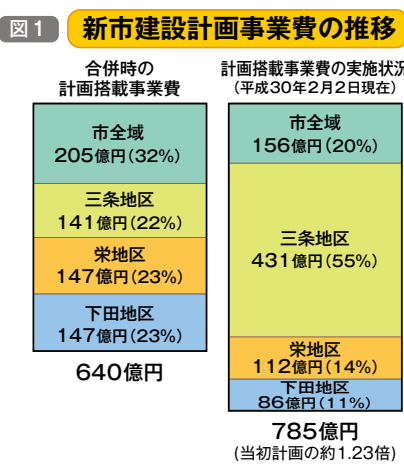


岡本 康佑 議員の質問

部活動地域展開について

Q 令和6年3月議会では「所管するのは教育委員会で行った地域クラブのみ」としていたが、先日の地域展

「均衡ある発展」が実現できたと言えるのか、認識はどうか。



A 下田地域の人口減少のスピードが速い背景は、高齢化や核家族化など社会全体の変化、冬の積雪などさま

開の説明会では民間クラブの認定をほめかしていた。今後はスポーツ団体やチーム、株式会社等および文化団体も、民間クラブを地域展開の受け皿と認めるのか。

A 民間クラブに単純シフトされるわけではなく、今後検討する地域クラブの認定基準の要件にかなう団体クラブであれば受け皿になり得る。

Q 認定基準はどこが作るのか。可及的速やかに作成すべきではないか。その際の部活動が持つ教育的意義はどうなるのか。

A 認定基準は国の指針を踏まえ、教育委員会が主体となり関係部局と連携して対応する。部活動が担ってきた教育的意義の観点も認定の要件に定める必要がある。

Q 団体種目で市内でチームを作れなくなりそうな種目もある。市外とも広域化を図るべきではないか。

A 将来的に当市だけで地域クラブ活動が困難な場合には、指摘通り、近隣市町村と連携した取り組みも必要。

選挙における投票所および開票所の運営について

Q 他市で偽の投票用紙が出た。防犯

ざま考えられる。新市建設計画の変更が差異の背景にあるとは捉えていない。

下田地域の小学校統合問題について

Q しただの郷学園の小学校統合について懇談会が開かれた。延べ80人余りの方から意見が出され、その都度回答された。聞いていて、お金をかけずに統合を進めるのかと感じた。それについての、見解はどうか。

A お金をかけない意図はない。スクールバスの増設も想定しており、相応の経費も確保する考えだ。



白鳥 賢 議員の質問

観光まちづくりとその戦略

Q 観光協会の組織再編の進捗を問う。

A 現状では、安定した予算確保、他分野との連携、イベント時の人員確保、信頼性を背景とした協力依頼が容易であることから、丁寧に検討を進めている。

Q いい湯らいてい★サウンディング型市場調査の進捗を問う。